

保育おおさか

No. 464

平成26年4月1日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺1丁目1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

待機児童解消と新制度事業を 先行的に取り組む市町村を支援 ——大阪府新年度予算から

平成26年度大阪府当初予算が可決・成立しました。主な保育サービスに関連する予算を抜粋して報告します。市町村に対し必要な経費を助成するなど、子どもを安心して育てることができるような体制整備を行います。

(金額単位：千円)

事業名	事業内容	H25当初予算額	H26当初予算額	前年増減
保育緊急確保事業	子ども・子育て支援新制度への円滑な移行を図るため、小規模保育運営支援事業や幼稚園における長時間預かり保育支援事業など「待機児童解消加速化プラン」を推進する事業や、新制度における地域子ども・子育て支援事業等を先行的に実施する市町村に対し必要な経費を助成。 ○「待機児童解消加速化プラン」の推進 ・小規模保育運営支援事業 ・認可化移行総合支援事業 ・幼稚園における長時間預かり ・保育士等処遇改善臨時特例事業 保育支援事業 ・利用者支援事業 等 ○新制度に基づく事業の先行的な支援 ・地域子育て支援拠点事業 ・一時預かり事業 等	0	2,159,284	2,159,284
保育所等整備事業 【安心こども基金活用事業】	待機児童解消のための民間保育所の創設・増築や老朽施設の改築による環境整備のほか、平成26年度は、小規模保育、認定こども園等の整備を行う市町村に対し必要な経費を助成。	12,086,154	15,066,469	2,980,315
子ども・子育て支援 新制度の施行準備 【安心こども基金活用事業】	新制度における幼保連携型認定こども園への円滑な移行のため、保育教諭確保のための資格取得支援事業や認定こども園保育要領に関する研修事業を実施。	0	12,283	12,283
保育所運営費負担金	市町村が支弁する民間保育所の運営費用のうち、都道府県の法定負担分を市町村に交付。	6,692,950	6,335,621	▲357,329
保育所運営費補助事業	保育サービスの充実を図るため、休日保育事業等を実施する市町村に対し必要な経費を助成。 ア 保育所運営費：休日・夜間保育等の実施に要する経費を助成。 イ 病児・病後児保育：病中・病後など、集団保育が困難な児童や、保育中に体調不良となった児童を、保育所、病院等に附設された専用スペースで一時的に預かる体制の確保に要する経費を助成。 ウ 延長保育：延長保育の需要に対応するため、保育所の開所時間を延長して保育を行う事業体制の確保に要する経費を助成。	1,951,823	1,797,803	▲154,020
地域福祉・子育て支援 交付金	市町村が地域の実情に沿って「地域福祉」、「子育て支援」及び「高齢」の各分野の事業を実施できるよう交付金を交付。	2,116,304	1,990,856	▲125,448
地域福祉・子育て支援 交付金 「子育て支援分野特別枠」	「こども・未来プラン後期計画」や「市町村次世代育成支援行動計画（後期計画）」の目標達成に向け、市町村の新たな事業展開を支援するため、地域福祉・子育て支援交付金に別途、「子育て支援分野特別枠」を設け市町村に交付。	500,000	500,000	0

最近、春を体で感じるが増えています。気温の上昇だけではなく、視覚から感じる春です。

毎日の犬の散歩で、南東側から金剛山・葛城山、東側正面に二上山、北東側に生駒山が一望できます。特に春の季節、一番感動するのが、二上山の雄岳と雌岳の間から昇る朝日です。街中でも、周りを見渡せば、紅梅や白梅、水仙などの花が咲き、桜の花も。聴覚で感じる春です。空を見上げるとひばりが鳴いています。味覚から感じる春。タケノコ料理や菜の花のお浸しなど日本酒で一杯。

保育園では、できるかぎり体を使って、季節感を体験できるようにデイリーを考えた保育をしますが、家庭ではどうでしょう。キャベツやきゅうりなどの野菜やイチゴなどの果物は、一年中スーパーで買え、季節関係なく売っています。食事で季節感を味わえることは、難しくなっています。

日頃から、子どもたちと一緒に、四季を感じられるような体験や感動を積み上げたいものです。(編集委員K・S)



最近、春を体で感じるが増えています。気温の上昇だけではなく、視覚から感じる春です。

具体化する新制度

地方版子ども・子育て会議

「地方版子ども・子育て会議」の各市における設置状況を見て、保育関係者での「北摂ブロック版・地方版子ども・子育て会議」を開催。武内慎吾会長を中心に各市代表者の参加を得て、平成25年8月30日に第1回を開催し、平成26年3月10日まで合計5回実施しました。

1回目は、各市の「子ども・子育て会議」の設置状況や会議出席の委員・役員の構成状況、保育関係者の委員参加状況や子ども・子育て支援事業計画策定等の進捗状況を確認しました。2回目から4回目にかけては、子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査の概要について、調査の目的、実施時期、調査対象者及び調査方法などの各市の状況や具体的な調査票の内容についても確認しました。

影響等も議論しました。例えば、各市の中でも需給バランスの逆転している地域は、新規の事業展開ができないなどの問題がありますが、現況の社会福祉法人の保育園が新型認定こども園に移行することは、内閣府通知により可能です。5回目は、ニーズ結果報告や、幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込みなどの各市の状況を確認しました。新幼保連携型認定こども

園の国基準が決まりつつある中、公定価格問題は、例えば障がい児保育の加配制度について国の会議で予定されているが予算は大丈夫か、公定価格が決定した時、現状の各市補助金はどうなるかなども注視すべきです。保育料の問題や移行につ

いての保護者への説明など、限らない問題についても各市の会議で活かすべく熱心に議論しているところです。今後さらに具体化する新制度について、一步一步対応していきます。

南大阪ブロック内で実際にあった保育園が関わった事例が紹介され、参加したスマイルサポーターが保育園でどのような対応が可能かについてグループワークを行いました。

スマイルサポーターフォローアップ研修会 社会貢献支援員との連携

2月19日SAYAKAホール（大阪狭山市）と2月20日リビエールホール（柏原市）で南大阪ブロックのスマイルサポーターフォローアップ研修会が開催されました。

老人福祉施設で実施する「生活困窮者レスキュー事業」の概要について、大阪府社協・社会貢献支援員が

今後、生活困窮者を発見した際のスマイルサポーターと社会貢献支援員との連携についても、活発に意見が交わされました。



各市の進捗状況について議論

実施時期にはバラつきが見られます。調査票については、アンケート内容を各市の子ども・子育て会議で丁寧に説明した市もありました。ニーズ調査は平成25年12月中旬に全市終了し、内容が検討されました。

区域の設定についても説明され、決定までの進捗状況や区域決定による

共同募金配分金のご案内

今年も10月から実施される平成26年度（第68回）共同募金運動開始に先立ち、共同募金配分申請受付を開始します。

対象 大阪府内で行う民間社会福祉事業、更生保護事業、その他社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体

受付期間 平成26年
5月1日～5月20日

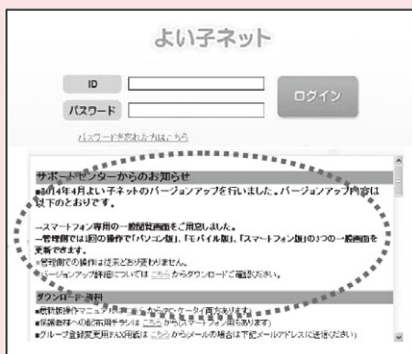
問い合わせ先
大阪府共同募金会
電話 06-6762-8717
FAX 06-6762-8718
メール ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp
(件名に「配分申請」と明記してください)
URL <http://www.akaihane-osaka.or.jp>

よい子
ネット

バージョンアップのお知らせ

保護者がより閲覧しやすいように、4月1日から、よい子ネットの一般画面にスマートフォン版がスタートします。詳細は、よい子ネット管理画面 (<http://yoikonet.jp/mgr/>) からダウンロードできます。

【よい子ネット管理画面】



子どもたちの歌声響く ま新しいひろびろ環境

季節の野菜や果物育て
元気いっぱい生活楽しむ

堺市

くろやま保育園



大きな畑で経験する食育

取材したのは2月。刈り終わった田んぼに雪が残る寒い日でした。生活発表会を控えた園舎には、楽器の音や子どもたちの歌声が響いていました。練習するたびに上手くなっている楽器演奏を聴いてい

ると、発表会本番が楽しみになりました。

社会福祉法人どんぐり会くろやま保育園は、平成24年4月に新設された認可保育園です。運営法人も同時期の設立です。ひろびろとした環境のなかで、寒さに負けない子どもたちの元気な声が園庭から聴こえてきます。

子どもたちが季節を感じられるように、園庭にはクヌギやアラカシ、コナラなどの落葉樹がたくさん植えられています。根の付きもまだまだ、枝も細くヒョロツとしています。昨年の夏の酷暑はピンチでした。「秋はお庭でどんぐりひろい」と園歌にはあるので、昨年採れるどんぐりの数より子どもの方が多い、園庭で拾われたどんぐりにはプレミアがつくほどでした。

もうすぐ農園が完成します。365㎡の畑を作り、季節の野菜や果物を育てる予定です。子どもたちが自ら種を蒔き、苗を植え、水やりや草引きをし



まだまだ成長中の木々

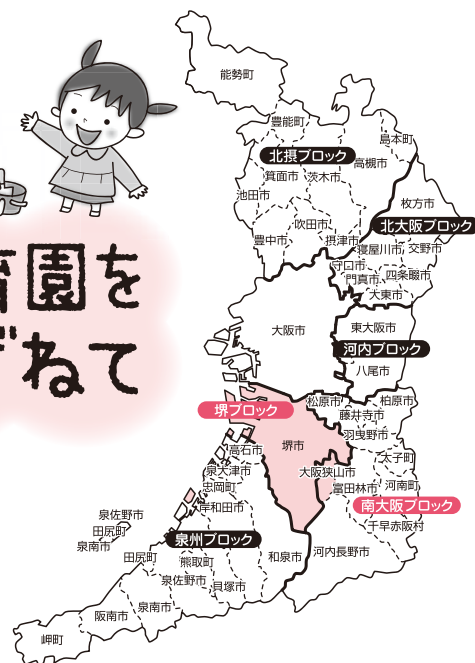
ます。野菜の成長を見つめ、収穫し、自分たちでクッキングすることで、「食を楽しむ」ことを、生活のなかで経験できると期待が高まっています。

くろやま保育園は、子どもたちが元気いっぱい生活できる環境をめざしています。(編集委員K・M)



保育園を たずねて

491



イルカが迎えてくれます

協力いただき旬の野菜を収穫させてもらっています。「採れ頃やで」と声がかかり、イチゴ、トマトなどをたくさん収穫し、子どもたちは大喜び。

和食中心の給食は、節分や桃の節句など季節のメニューを大切にしています。

お米は胚芽米を採用。始めはすこし歯ごたえのある胚芽米に戸惑っていた子ども、今では大好き。砂場遊びでも「はいがごはん、よそつてねん」と見せてくるそうです。

おやつのおにぎりは、ラップを使って自分たちで握っています。自ら握ることで、ますますご飯が好きな効果があるとか。うどんも子どもたちが打ちます。粉をこねて踏み、切っています。



豆剥きの様子

給食の献立表には、栄養素を赤・黄・緑3色に分け、「今日のおかずは何色かな?」とお話すること、子どもたちが素材にも興味を持つようにしています。(編集委員N・M)

採れたて食す喜びを子どもに 自分でつくるおにぎり、うどん

今日の給食のおかずは何色?
胚芽米・季節のメニュー

大阪狭山市

池尻保育園



リスクマネジメント
わが園の取り組み

リスクマネジメント 意識の高さと普段の努力

玉串保育園(東大阪市)

いざという時の危機管理や日常起こりうるリスクマネジメントについて、東大阪市社会福祉協議会が運営する玉串保育園の西由貴子園長にお話を伺いました。

避難所としての 保育園の役割

大きな災害時に地域の避難場所や活動拠点として使用される保育園は、有事の際に備えることが大切です。地震・洪水・台風に遭っても倒壊しない建物にする。避難してきた方が、施設の中において安全を確保できる空間にすること。避難所として活用する場合に備えて、水と食料は常に確

災害時ガイドライ ンを活用する

災害時に職員の行動ガイドラインを作成し、さまざまな災害に対応すべく備えています。ガイドラインを簡素化し、携帯できる「災害時活用ハンドブック」を作成し、外出先でも対応できるようにしています。

保し、消費期限が近づいたものから順番に消費し、また新たに購入しています。

強盗や不審者が 現れた時の対応

いつどのような人が現れ

台風など予め災害が予測される時は、管理者が保育園に泊まり込み、行政の危機管理室や法人本部と連絡をとり、情報を集め災害に備えています。園だけでなく、地域の方々の安全にも留意しています。

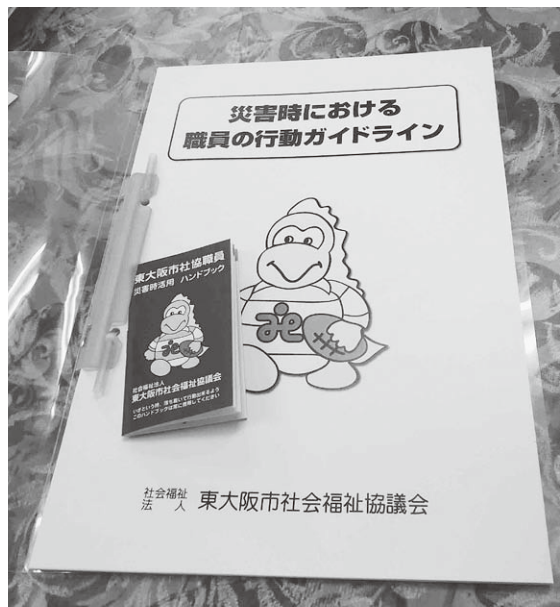
台風など予め災害が予測される時は、管理者が保育園に泊まり込み、行政の危機管理室や法人本部と連絡をとり、情報を集め災害に備えています。園だけでなく、地域の方々の安全にも留意しています。

トイレを借りに近隣の工事関係者が来られたら、以前は園内に入れていましたが、今では「困ります」と断っています。近隣との関係が大事な保育園では八方美人的な対応を取りがちですが、子どもを守るためには人を見切ることも重要で

十分には注意していても日常、園児のケガは起きてしまいます。病院での治療が必要だと判断した場合、先ず保護者に連絡をとって事情を説明し、保護者の承諾を得て受診しています。以前はまず病院を確保し、受診してから保護者に連絡していまし



警察と協力して不審者対策



いつでも携帯、どこでも対応

送迎時のトラブル 防ぐ努力

車での送迎が増え、近くに駐車場を借りています。が、保育園の前に車を止めたり一方通行を逆走する保護者も見かけるため、入園説明会など機会を見ては繰り返し注意喚起をしています。職員や保護者、シルバー人材センターとも連携しつつ、交通事故などのトラブルを未然に防ぐ努力をしています。

保育中の ケガの対応

今回の取材で感じたことは、リスクマネジメントの意識の高さ、そのための日頃の努力です。個々の保育園がさまざまな問題を抱えています。共通した問題も多いと思います。自分の保育園で困っていることを話題にすることは少ないですが、いろいろな保育園のやり方を教えてもらうことで、少しでも問題が解決できればと思います。

(編集委員 K・M)

北大阪

子どもの笑顔ひきたす
大人の笑顔

—保育士研修会

1月28日、ホテル・アゴラ大阪守口で開催された研修会では、小野次郎氏（和歌山大学大学院教育学研究科教授）が「発達障害はどうして起こるの？ 医学的



小野次郎氏

基礎知識・最近の知見から」のテーマで講演。110人が参加しました。

発達障がいを持つ子どもの共通した特徴は、自分を中心とした行動があり、理

解していない人からは叱られることが多いが、ほめられることが少ないこと。このような行動は、脳の機能異常が原因と考えられます。

自尊感情を育て、自分に

自信を持てるよう「ほめること」が大切。マイナス面だけでなく、プラス面をいっぱい見つけ、子どもの「いいところ探し」をする。自分でできることは自分でさせ、ほめる。できない部分は、背中を押して助ける支

援が大事です。

「子どもが力を伸ばせるように笑顔をひきだしてください。そのためには私たち大人も笑顔が大切です」と話をしめくられました。

障がいをもつ子どもの特徴を、具体的な例を示してわかりやすく教えていただき、一人ひとりのかけがえない生命を大切に育てることを学びました。参加者がそれぞれの園に持ち帰り、日々の保育に生かし、

河内

主役は子ども

二宮金次郎から学ぶ

—園長研修会

2月20日、「たかつガーデン」で開催された研修会では、中桐万里子氏（二宮金次郎七代目・「親子をつなぐ学びのスペーススリレイト」代表）が講演されました。

二宮金次郎といえば、薪を背負いながら本を読む勤勉な少年のイメージですが、大切なのは背負っている薪とその場所であり、一歩を踏み出す勇氣である、と中桐氏は解説。

農村復興を果たした金次郎が偉業を成しえたのは、暮らしの中で自然から学んだからと言われます。

しかし、最初の村復興に15年も費やし挫折も味わいました。農民と自分の立場の違いや理解の仕方原因があると気づき、解決していきます。例えば、自分が水車で農民が川であるというような不遜な気持ちがあったため、農民から理解されませんでした。主役は誰かを考え、それを知ることが「一つ目の気づき」でした。

水に浸かっている水車の上の部分を「対策・工夫・実践・実行」の部分、「よく知る・よく見る・受け入れる」部分を水面下と捉え、一人ひとりを主役にする生き方に変化したことが「二つ目の気づき」です。

まさしくそれはPDCAサイクルであり、「主役は子ども」。そしてサポートのあり方も「手を離して目を離さない」という当り前のことを見失わない取り組みが、保育にとっても大切だと再認識した研修でした。



熱心に話を聞く参加者

現在の会計年度は、財政法

によつて4月1日に始まり翌年の3月31日に終わると定められ、学校年度も同じだが、アメリカでは9月開始（州によつて異なる）。

年度も会計の他に営業年度、物資年度は収穫期を基準とし、米穀、砂糖、酒造、羊毛、綿花、肥料、小麦、生糸など各種ある。

異動の季節、行政

機関・学校など、代わつてほしい方、反対に現在の立場に居てほしい方など、本人さんはそれなりに仕事をしているんだけど、やはり人間味の有無になるのかな？ でも知人がその立場となり、昇進の場



旬
新年度が始まる。異動の季節
いま社会福祉法人が中央で論議的

合は嬉しいものだ。いま中央では、社会福祉法人が論議的になっている。一つは累積剰余金が「蓄財」と見なされ、国民の目には「許されない埋蔵金」と映ると言う学者もいて、今後より厳し

大社協が旗振り役になりオール大阪で更に拡げて行こう。そのために部会でも資金の拠出額の検討も行っているところ。物事、指摘されてやるのではなく、自ら進んでやるべきだ。前述の我々に対する指摘

する。この人材不足の折に。待機児解消も何処まで本気でやるの？ まだまだ我が国は子どもに対する金の掛け方が少なすぎる。政治家も少子化は国の根幹に関わる大事なことは言うものの、実態はかけ離れている。

さて4月、花山椒の季節。わらび・ぜんまいの白和え。海のモノでは、サヨリ（細魚）の細切りにレモン塩が大好物。あつ思わす涎が出そう！ アサリの酒蒸し、しらすも旬（相模湾では1〜3月が禁漁）。イワシの稚魚でチリメンジャコのこと。年中出回るが、今が旬らしい。

が国全体から指弾される前に実行すべき。来年度から始まる保育の新制度に関連して、消費税率を10%に引き上げた場合に保育士の給与5%増額案を3%に。財源不足のため増額分を圧縮

（H・N）

（編集委員S・S）